

商 況

(日本製鐵販賣旬報第 123~125 號より抜萃)

昭和 13 年 8 月中鐵鋼關係日誌

- 2 日 大阪伸鐵工業組合では 8 月第 1 回賣出値段は下記の如く据置と發表す。
- 3 日 合衆國今週の製鋼作業率は全能力の 39.8% と見積られ前週より 2.8% の増加で昨年 11 月第 2 週以來の最高記録を示した。7 月中の生産高も前月の夫に比し 1 割の増加を見、熔鑄爐に火入を行ふものも更に増加した。屑鐵市況もピツッパーク渡して 15 弗 25 仙~ 15 弗 75 仙の高値を示した。(輸出向は前旬に保合)
- 4 日 日本鋼管では 7-9 月の鋼管生産割當が 2 割 5 分の減産となつた爲輕軌條の生産を復活する事になつた。
 - 大阪伸鐵工業組合では臨時總會を開き同組合の地區を愛知、廣島、島根、福岡の 4 縣を新に追加する事に決定した。
- 5 日 商工省では大體次の方法により罐詰製造用空罐の配給に付き統制を實施する事になつた。尙これにより從來の鐵の消費統制の第一次的工程に關するもののみならず第二次的工程即ち鐵鋼製品の割當制度に先鞭をつけたものである。
 1. 商工、農林兩省及關係業者の團體(製罐工業組合以下 9 團體)を以て需給調整協議會を組織し商工省内に置く
 2. 以上協議會は原則として輸出向食料品製造用、軍需向食料品製造用及内地向煉乳製造用空罐の供給數量に付割當をなす。
 3. 各罐詰製造業者團體は需給調整協議會に於て決定したる空罐割當數量に相當する割當證明書を團體員に交付する。
- 6 日 非鐵金屬の需給統制機構として鉛、亜鉛統制組合、日本アンチモニー統制組合が設立される事になつた。
 - 東京伸鐵工業組合では新に北海道、神奈川、新潟を追加し地區を擴張した。
 - 鋼材聯合會では常務理事會を開催次の諸項を決定す。
 1. 壽重工業株式會社の鋼塊組合への新規加入に伴ひ鋼材聯加盟も決定す。
 2. 薄板及鉄力板兩共販の鋼材聯加盟に伴ふ代表委員の推薦あり南俊二(東京製鐵)、宇田耕一(淀川製鋼)、中山半(中山鋼業、大阪中山鋼業)、大谷米太郎(大阪薄鐵板)、高崎達之助(東洋鋼板)、關山延(高砂鐵工)、川島辰之助(扶桑鋼業)の諸氏が決定した。吾孺製鋼清岡委員の後任として高橋正雄氏決定。
 3. 7, 8, 9 月の自家用鋼材としては商工省より土木建築へ 40,000t、自家工場施行工作物機械器具修理材 20,000t、計 60,000t の割當を受けた。之は各社申請量(年初)の 4 割節約となる(數量中には自社製品を使用する量をも含む)。
 4. 全鋼商統制委員として聯合會より渡邊常務委員を推薦することに決定。
 5. 中間鋼統制に關しては特殊鋼の定義(イ)ノ乙、即ち

炭素量 0.6 以下にして PS 含有量 0.035 以下のものも中間鋼統制に入ることとなつた。

尙中間鋼の統制に關しては去る 7 月 20 日の協議會に於て次の如き申合をなした。

- (イ) 特殊鋼協議會の統制分野以外の鋼は全部普通鋼材の統制下に置く。(鹽基性爐法によるもの全部)
- (ロ) 中間鋼製造業者は當該鋼材共販組合に参加し該共販組合内に第 2 部を設けて統制を計る。
- (ハ) 本統制品種に屬する鋼塊並に鋼材を製造する業者は本統制に参加する。但電氣爐を有するも特殊鋼協議會の規定品以外のものを作る業者は本統制に参加すべきものとす。
- (ニ) 販賣方法は從來の販賣系統を尊重し指定販賣店指定問屋及特約店を設け販賣の統制と圓滑を計ること。

- 6. 一般死蔵在庫品(例は百貨店建築請負業者等の鋼材需要家が所有しつゝある死蔵鋼材)の共販買上操作は共販をして之に當らしむ。
- 7. 短尺品及鍛造用鋼塊鋼片の販賣にも證明書制を適用されることになつた。

8 日 東洋製罐、北海製罐、日本製罐等 10 餘の製罐業者は製罐工業組合を結成した。

○陸軍省發表、張鼓峰事件による 6 日までの我軍戦死者 70、戦傷者 180 名、6 日以後戦死者約 200 名、ソ聯側は死傷 1,500、戦車 100 臺を破壊。飛行機 6 機撃墜。

10 日 徳山鐵板株式會社では臨時株主總會開催、電氣爐 2 基、其他附屬施設増加の認可を得たので資本金を 3,000,000 圓増資して 8,000,000 圓とする事に決定。

○米國今週の製鋼作業率は全能力の 39.4% と見積られ前週より 0.4% の減。

○US スチール會社の 7 月中鋼材引渡高は 442,000t で前月より 36,000t の減。

8 月上旬爲替相場

區分	日	1	2	3	4	5	6	8	9	10
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-1/4	28-3/8	28-3/8	28-1/2	28-3/8	"	28-1/2	28-7/8	"	"

10 日 半製品及棒鋼共販組合第 2 部(中間鋼統制組合)事務開始總會及第 1 回理事會を開催し大體次の諸項を決定した。

- 1. 加盟社は原則として中間鋼生産者全部とするも、不取敢次の 14 社として業務を開始す。日本製鐵、日本鋼管、日本火工、日曹製鋼、富永鋼業、東京鋼材、東京製鐵、特殊製鋼、川崎造船、内外製鋼、小倉製鋼、神戸製鋼、尼崎製鋼、宮製鋼。
- 2. 取扱店に關して從來の販賣系統を尊重する。
- 3. 生産並に販賣については次の 5 品目について昨年 1 月より本年 6 月までの半製品及製品生産高並に販賣高を報

44

告せしめ改めて協議する事。

- A 特別極軟鋼 (C < 0.1, Si Trace, Mn 0.3, P.S. < 0.04)
 - B 半軟鋼 (C 0.3-0.4, Si < 0.3, Mn 0.4-0.7, P.S. < 0.04)
 - C 半硬鋼 (C 0.4-0.5, Si < 0.3, Mn 0.4-0.7, P.S. < 0.04)
 - D 硬鋼 (C 0.5-0.6, Si < 0.3, Mn 0.4-0.7, P.S. < 0.04)
 - E 最硬鋼 (C 0.7-1.1, Si < 0.3, Mn 0.4-0.7, P.S. < 0.04)
- 11日 満ソ國境紛争事件は重光、リトヴィノフの會見により下記協定の成立を見、實施方法は現地の双方軍隊代表者間の協議に依ることになった。
- 1. ソ聯側沿海州時間 11 日正午双方戦闘行為を停止すること。
 - 1. 日ソ兩軍はソ聯側沿海州時間 11 日午前零時現在の線維持すること。
- 12日 倫敦よりの入電によれば歐洲鐵鋼値段は引續き保合なり。
- 大阪伸鐵工業組合では 8 月第 2 回賣出値段は据置と發表。
- 15日 商工省では鋼の軍需充足を確保する爲に鋼使用制限規則を制定し禁止品目 257 を指定して本日より實施す。
- 8 月分東京小賣物價指數 (本日現在) は 203.1 と前月より 1 分 9 厘方の騰貴を示し調査品目 100 中、騰貴 23、低落 15、保合 62。
- 16日 6 月の全國労働名目賃銀指數 (大正 3 年 7 月基準) は 287.6 と前月より 1 厘の微騰であつた。之は前年同期即支那事變勃發直前に比し 5 分の騰貴である一方實質賃銀指數は 2 分 2 厘の低下を示してゐる。
- 17日 今週の米國製鋼作業率は全能力の 40.4% と見積られ前週より 1% の増加にして昨年 11 月以來の高率である。
- 18日 プリキ板共販理事會に於て 9 月積建値については從來の 2 元建を改め下記の通り 1 元建とした (但東洋鋼板及扶桑鋼業の石油罐用、定期實需家向市場寸法は前月日鐵建値と同じ)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 170.6 | 36.00 圓 | 200lb | 37.50 圓 |
| 石油罐用胴板 | 21.50 圓 | 石油罐用天地板 | 30.00 圓 |
- 商工省は告示第 244 號を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定により日本電解曹達工業組合及び日本アンモニア曹達工業組合とを指定す。
 - 高率限産に悩むセメント業の休轉窯を銑鐵生産に轉用せんとを試みは最近鶴見製鐵造船が同系の淺野セメントと提携しその研究を進めてゐるが一方商工省の斡旋により日鐵は小野田、秩父の兩セメント會社に對し技術的援助をなす事となつたと。
 - 7 月中の全國生計費指數は 210.3 を示し前月より 1.8% の大幅の昂騰であつた。之は昭和 9 年 10 月以來の激騰である
- 19日 厚生省では軍需産業の生産力擴充と併せて労働力の保護を圖るために就業時間の 12 時間以内交替制、實施可能なる時は 3 交替制の採用等を懇諭し地方長官宛通牒を發す。
- 20日 東京、大阪、名古屋、3 都鋼材特約店商業組合の斡旋により 45 府縣鋼材特約店商業組合を以て全國鋼材特約店商業組合聯合會を結成し創立總會を開催した。
- 7 月中の英國の鋼生産高は 683,000 噸で 7 月としては 1933 年來の最少額であつた。

- 20日 去る 8 日の線材共販理事會に於て次の諸項を決定した。
- (イ) 下記普通線材取扱問屋 14 店をして單一組合を組織せしむることとし、特殊線材取扱問屋は從來通りで特に指定しない事となつた。(東京の部)木下商店、森岡會 (大阪の部)山本會、深浦商店、井上商店、穠村商店、片山商店、大阪金網、松浦商店、下村商店、中山商事、梅本商行、佐渡島商店、福田商店。
 - (ロ) 日本製鐵より新に阿部雅雄氏を吾嬌製鋼より故清岡理事の後任として松下秀夫氏を理事に決定した。
 - (ハ) 9、10 月積線材販賣値段は据置と決定した。
- 形鋼共販理事會では次の事項を決定した。
- (イ) 短尺、端尺及廢品 (ミスロールを含む) の統制に關し從來の販賣系統を尊重し配給地域及數量を共販に於て調節することに決定した。
 - (ロ) 小形、中形、大形共 2 級品の格差は 1 級品の 3 圓落と決定し尙 8 月 1 日より生産の 2 級品中形山形鋼はプール計算をすることに決定した。
- 22日 商工省は鐵鋼製品にして且用途の廣い磨帶鋼についても配給統制をなすこととなり商工省關係官と關係各業者とが磨帶鋼需給調整協議會結成の打合せを開催した。
- 23日 特殊鋼協議會では總會を開催し鋼材共販の中間鋼統制に鑑み同協議會の定義を次の如く改訂した。
- 特殊鋼とは電氣爐、ルツボ爐並に酸性平爐にて製造せるものにして其の化學成分次の如きものを云ふ。
- (イ) 炭素鋼
 - 甲 C 0.6-1.5% にして PS の含有量 0.03% 以下のもの但し航空機及自動車鋼は特殊鋼協議會の統制を受くこと。
 - (ロ) 合金鋼
 - 乙 Si, Mn の含有量 0.8% 以上 (一元素單獨の場合)、1.5% 以上 (二元素以上共存の場合併せて)
 - 丙 Ni, Cr, Cu, Al の含有量 0.4% 以上 (一元素單獨の場合) 0.4% 以上 (二元素共存の場合併せて)
 - W, Mo, V, Co, Ti の含有量 0.2% 以上 (一元素單獨の場合) 0.4% 以上 (二元素以上共存の場合併せて)
 - Zr, B, Be, V, Te. の含有量 0.2% (一元素單獨の場合) 0.4% (二元素以上共存の場合併せて)
- 但し鐵道省用スプリング鋼に限り差當り特殊鋼として取扱ふこと。
- 商工省は國內在庫鐵鋼買上の件に關し各府縣知事に通牒を發し下記に依り貯藏鋼材を買上げ軍需其の必要な生産擴充資材に充つることとなつた。
 - (1) 買上鐵鋼材は鐵鋼工作物製造許可規則に依り建築工事を中止したる場合の鋼材又は工事完成後の殘材、銑鐵鑄物並に鋼製品の製造制限を受けたる製造業者の在庫品其の他。
 - (2) 買上價格は大體現在の共販建値を標準とするも仕入原價が建値以上の分に對しては相當考慮せしむ。
 - (3) 買上機關は鋼材各共販組合。
- 24日 アメリカの今週の製鋼作業率は全能力の 42.8% と前週に比し 3.4% の増。US スチール株は 61 弗 3/4。
- 伊國を一方とし日本及滿洲國を他方とする通商協定の調書作成を了り來る 9 月 1 日より實施することとなつた。

8 月中旬爲替相場

區分	日	8	11	12	13	15	16	17	18	19	20
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-1/6	"	"	28-3/8	"	"	28-1/6	"	"	"	"

○日鐵の社債發行條件決定す。發行總額 100,000,000 圓の中第 1 回分 30,000,000 圓を 4 分 2 厘アンダーパーの新起債條件(從來一流物の條件 4 分 3 厘パー)を以て發行することとなつた。尙詳細は次の通り。

1, 發行總額 100,000,000 圓の中第 1 回發行額 30,000,000 圓(シンデケート團親引 8,000,000 圓, 簡易保險局 5,000,000 圓, 公募 17,000,000 圓)

1, 利率 年 4 分 2 厘

1, 發行價格 100 圓につき 99 圓 50 錢

1, 擔保 無擔保特約付(將來擔保を必要とするやうな事態の生じた場合は日鐵は速に擔保を提供する)

1, 期限 12 年(但し 2 ヶ年据置後毎半年 600,000 圓以上買入償却又は償還)

1, 申込期日 9 月上旬

1, 拂込期日 10 月上旬

1, 應募者 最終利廻 4 分 2 厘 6 毛 2 絲

1, 發行者 利廻 4 分 4 厘 6 毛

1, 引受 興銀(幹事)第一, 三井, 三菱, 安田, 住友, 三和, 第百の 8 銀行

25 日 昨年 7 月を 100 とする東京市 8 月分労働者生計費指數は 113.4 で前月より 4 厘, 前年同期より 1 割 3 分 6 厘の上昇, 同給料生活者生計費指數は 112.4 で 7 月より 4 厘, 前年同期より 1 割 3 分 2 厘の上昇を示した。

26 日 米國商務省は 7 月中銑鐵輸出高を 10,000t(前月 25,000t) 屑鐵輸出高を 125,000t(前月 160,000t) と發表。

○ドイツ鐵鋼協會發表 7 月中の銑鐵生産高 1,625,000t(前月 1,509,000t) 鋼 1,981,000t(前月 1,831,000t)

29 日 23 日商工省より各府縣知事に對して發したる國內在庫鐵鋼買上に關聯し棒鋼, 形鋼及鋼板共販の常務理事會を開催し其買上方法を決定した詳細は別掲國內貯藏鐵鋼の買上參照

○鋼材共販では從來短尺, 端物に關して定義が一定してゐない爲に自由販賣出来るものと解釋されてゐたのを短尺, 端物も普通壓延鋼材であるから證明書を要し下記の通り取扱ふこととなつた。

販賣に證明書を要せざるもの 爐に還元するスクラップ
販賣に證明書を要するもの 其他全部, 但問屋, シャー
伸鐵業者向は此限に非ず。

30 日 滿洲國政府は鋼材輸入免稅種目中に鋼管, 鋼板, レール等を追加したのでブリキ, 釘, 針金等特殊鋼材を除き殆ど全鋼材が輸入免稅となつた。

31 日 昭和 12 年 7 月を 100 とする全國主要 24 市平均の 8 月中労働者生計費指數は 113.3 で 7 月より 1 分, 前年同期より 1 割 2 分 6 厘の上昇を示した。

○アメリカの今週の製鋼作業率は全能力の 44% と見積られ前週より 1.2% の増加。

8 月下旬爲替相場

區分	日	22	23	24	25	26	27	29	30	31
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-5/16	29-7/16	"	"	"	"	"	28-3/8	28-7/16	28-5/16

海外鐵鋼情況

ブラッセル市況(7 月 7 日) メーカー及び輸出業者の意見は一般

に, 市場は好轉を示してゐるとしてゐる。一般的に言へば今頃は取引は季節的に閑散な時期である。従て此の買付の増加が今後も續くかどうかといふ事には幾分の不安がある。此の前に述べた通り, カルテルの更新に關する不安の爲に此の數ヶ月來手控へられてゐた註文は, 今度こそ市場に出されるだらう, といふのがメーカーの希望であつた。又補充を要する商品の總額についても, メーカーの意見はその量は相當多額に達するだらうとしてゐるが, 一方輸出業者は此の點に關してそれ程樂觀的ではないといふ事も此の前述べた通りである。それはとにかくとして, 引合及び註文の數量は増加した。今までの所まだ本格的な買付が始まつてゐるとは言へないけれども情勢は明らかに好轉したと言ひ得る。今までの所買付は主としてヨーロッパ市場即主にスカンジナビア及びオランダに限られてゐる。これに就いては價格の安定の効果が外國市場に關して表はれるまでに, 幾分の時日を要する事は當然である。それはさうではあるが, 既に棒鋼に對する相當の註文がアルゼンチンから出た。極東及び英領印度は尙著しく註文稀少である。然し海峽殖民地, シヤム, 蘭領印度, エジプト等から, たいして重要ではないが新規の註文が出された。同時にオランダが, 最近引下げられたオランダ向け輸出價格たる 11 磅でもつて, 造船用平爐鋼中鋼板に對する重要な註文を發した。カルテルはアムステルダム, ロッテルダム渡しトーマス鋼厚鋼板について, 當り 5 フロリン下げの 90 フロリンの建値を發表した。アメリカのアウトサイダーの競争が一休みの状態にある時はであり, 旁々此の値下げがオランダ市場の買付を復活させる事が希望されてゐる。コジバル受註高 6 月合計は前月比較 12% 増加を示してゐる。その内譯次の通り。(單位施)

		國內向	輸出向	計
5 月		49,500	33,900	83,400
6 月		52,000	41,900	93,900

上記によれば, 國內向けは 2,500t, 輸出向けは 7,400t 増加した譯である。

銑鐵 一般的傾向の變化に對應して銑鐵市場の様子も引締りを見せてゐる。成程ベルギーのメーカーは 3 號銑の輸出向相場を 3'00-3'26 FOB に引下げた事は事實であるが, 一方フランスのメーカーは輸出價格を 2'18'0 から 3'00 FOB に引上げた。今の處 3'00 FOB の價格はその儘維持されてゐるやうである。製鋼用ヘマタイト銑は 50 白法 方上て 775-800 白法, 鑄物用ヘマタイト銑も同額だけ昂騰して 875 白法 FOB であるが, 一部では既に 900 法の相場も建てられてゐる。

半製品 6 月受註高合計は約 23,700t で, 内 22,600t が國內向けであつた。外國需要は依然甚しく制限されてゐる。

棒鋼 6 月受註高合計は約 31,000t であつた。内輸出向けは 16,800t 國內向けは 14,200t であつた。價格は稍昂騰した。今尙幾分の値引が行はれてゐる場合もあるが, その重要性は著しく減じた再壓延業者も 2 金志以上は値引しない。南アフリカ及びエジプトから二三の引合があつたが, これは相當關心を有つ可きものである。又アルゼンチンから最近 1,400t の註文が入た。

三番アイアンバー 此の部門の傾向は依然として堅實である。前週の 6,15.0 (紙) といふ相場は今では最低限度のものとして看做されてゐる。

形鋼 相場は堅實であるが取引は少い。6 月受註高は約 7,000t 内 3,000t が輸出向け, 4,000t が國內向けであつた。

帶鋼 需要は今尙は幾分緩慢である。然しホット・ロールものの需要は徐々に増加してゐるやうである。一般の期待に反して, コ

ールド・ロール・フープのカルテルも、国際的な競争が激しく一部地中海市場に於てはイタリーのメーカーさへ競争に出てゐるにも拘らず、建値を据置くこととなつた。

厚、中板 先週約 9,000t のオランダの注文が入たと云はれてゐる。他の市場の買付は増加しなかつた。然し引合は一層多数になつたやうである。6月中の受註高総計は 23,200t に達し、内輸出向けは 17,800t 国内向けは 5,400t である。価格は保合である。然し大口の引合に對しては、アメリカのアウトサイダーはまだ競争に出てゐる。中鋼板及びユニバーサル鋼板の注文は 3,600t に達した。

黒板 今までのところ此の部門にはさしたる変化はない。6月中受註高合計は 6,900t に達し、内輸出向け 3,900t、国内向け 3,000t である。値引は約 20-25 志、時としては 30 志(紙)の事もある。然し此の最高限度の値引を許す再壓延業者は減少しつつある。

亜鉛鍍板 此の市場は取引は稀少である。値引は黒板の場合と略同様。但し總べてのメーカーが此の値引を許してゐるわけではない。(7月14日) ベルギー市場の情勢好轉は尙續いてゐる。引合及び發註は益々規則的になつてゐる。受註の數量はまだ、工場の操業が満足す可き状態に到る程には多くない。又今迄の所取引は幾分閑散と云へる程だつた。然しながら、買手の手許に留保されてゐる注文の數量は増加し、メーカーは近い將來に於て買付が復興するだらうと信じてゐる。半製品(主として国内市場向け)及び棒鋼の取引は稍々満足す可き状態にあり、形鋼も順調である。たゞ厚、中板はまだ閑却されてゐる。一方黒板の買付は目立て増加し、此の事は価格の引締りに反映してゐる。コールド・ロール・フープと亜鉛鍍板市場は閑散であるが、黒板の価格の引締り傾向が、亜鉛鍍板の相場の上にも幾分の影響を與へた。線材及び線製品の取引は比較的少量である。

本月12日迄のゴジベル受註高は、大略 44,000t であり、その内譯は次の通りである。

国内市場向け 18,000t 輸出向け 26,000t

此の數字から見れば、7月中の受註高総計は先週豫想してゐたよりも多分少くなるだらう。市場が現在の買付を持続するならば、本月の總計は恐らく 110,000t ぐらゐであらう。然し大體に於て価格は幾分引締るだらう。

現在の市場の活況は主として、スエーデン、ノルウェー、近東、ポルトガル、アルゼンチンの買付に因るものである。バルチック諸國は今の所買付少く、日本、支那及び英印からの注文を得る事は依然として困難である。但し上海から最近棒鋼及び線材の相當量の注文が入て來た。これは此の 10 週間來上海からの最初の注文であつた。とにかく全體として、海外との取引は、アルゼンチンを除いては、やはりまだ甚だ困難である。アメリカ鐵鋼業の全般的な価格引下げがアメリカのアウトサイダーの輸出物の價格政策に對して如何なる影響を與へるか、その結果を充分検討した上で積極的な行動に出ようといふ氣分が、多くの市場を支配してゐると考へられてゐる。

銑 鐵 ベルギーの鑄物銑のメーカーは、鑄物用 3 號銑に對して先週は 60 志の價格で引受けたが、今週は再び 62.6 FOB に引上げた。然しフランスのメーカーは尙 60 志、時としては 59 志 FOB ですら引受けてゐると云はれてゐる。フランスのトーマス銑は約 410 法 FOB アントワープの相場を續けてゐる。然し取引の形跡はない。ヘマタイト銑は引合は幾分増加したが価格は前通りである。

半製品 12 日迄の受註高は約 12,500t であつた。内、外註は僅少であつた。

三番アイアン・バー 此の部門は氣配強く、相場は 6'14.0-6'17.6 (紙) FOB の間を動いてゐる。大抵の場合 6'15.0 が最低相場だと云はれてゐる。

形鋼 12 日迄の受註高は約 4,700t。公定價格は嚴重に守られて居り値引の形跡はない。

帶鋼 ホット・ロール・フープは中等程度の引合あり、相場は公定價格通り。コールド・ロール・フープは取引閑散であり、スエーデン、ハンガリー、イタリー等、種々のアウトサイダーの競争が依然感ぜられる。カルテルの關心を牽く取引に對しては、公然の値引が許されてゐるのではないかと想像される。

厚、中板 12 日迄の厚板受註高は僅に 4,000t であり、中板及びユニバーサル平鋼は約 1,500t であつた。此の數字は餘り満足す可きものではない。大抵の國に於て造船用鋼板の需要が減少しつつあることは事實であるが、然しアメリカのアウトサイダーの競争もまたその一因であらうと思はれる。価格は保合。たゞ大量契約に對しては、アメリカのアウトサイダーの競争に對抗する爲、公定の割引が行はれてゐる。

黒板 12 日迄の受註高は 5,000t に達した。市場の現状から見て、これは好況といふ可きである。スエーデン及びアメリカの競争に對して特別の注意が拂はれてゐる。注文の増加は價格の水準に有利な影響を與へてゐる。値引は平均 15 志(紙)に減じた。そして重要な契約に對してのみ、20 志の値引が尙許されてゐる。

亜鉛鍍板 注文は相變らず制限されてゐる。然し黒板の堅實歩調が亜鉛鍍板の上にも多少作用した。値引は今の所約 25-30 志(紙)である。然し前通り、總てのメーカーが此の條件を許容してゐるわけではない。

(7月21日發信) 市況はカルテル更改決定以來好轉氣運にあるも何分暑中休暇期に入りたと、且本週は白耳義國祭週間のこととて別段の活氣を見ず此儘 9 月初秋の頃迄保合のことと存ぜられ申候。

7月18日迄の白耳義共販 Cosibel 入註 59,250t と發表せられ候。

ブラッセル市況(8月4日) 7月中旬の市場は上旬來の活況を尙持續してゐた。但それも、小口の注文及び引合が可成り多数にあつた爲で、重要な需要は市場に現れなかつた。此の點に於て最近の活況も、カルテル價格の安定の結果生ず可きものとして、メーカーの期待してゐた需要の復活とは異なものであつた。メーカーも、此の本格的な需要の復活は、秋に入るまでは起るまいと考へてゐた。それにしても、受註の状態は月初來の調子を保て居り、16 日迄で合計 53,500t に達した。從て此の状態が續けば、7月の受註高は前月に較べて可成りの増加を見たであらう。ところが下旬に入つて市況は稍々停頓を來し、且休日の關係もあつて、ゴジベル受註高も相當減少した。結局 7 月全體としての受註高は、當初の豫想に反し、6 月中に較べて大した増加を見なかつた。即次の通りの状態である。

	輸出向け	国内向け	合計
5 月	33,900t	49,550t	83,450t
6 月	41,350	52,000	93,350
7 月	56,060	43,040	99,100

上記の數字にも明きらかなやうに、7 月後半の市況停頓は、専ら國內市場の閑散によるものであつた。大體夏期の需要減退は例年の事であつて、これもその影響と見る可きであらう。國內需要の夏洩れ状態は、尙暫くは強くなるも衰へはしないだらうと考へられてゐる。

輸出向け注文は之に反して、確實な歩調を以て増加を續けてゐる。極東からの引合も入てゐる。支那が此の數週間來相當量の注文を

發した。尤も支那及び滿洲國に於ける、アメリカのアウトサイダーの競争が、これ等の市場に於ける註文を、公定價格通の相場で手に入れる事を不可能にしてゐる。従て價格は随分引下げられてゐる。時として、棒鋼に對して12志6片(金)以上の割引が行はれてゐる。

輸出貿易が、今後益々改善を續けて行く事を、メーカーは期待してゐる。オランダ市場向け價格の引下げ及びトーマス鋼鋼板の公定價格引下げが、アメリカのアウトサイダーに對する競争を一層容易にする事は、疑ない事實である。現にオランダからの引合が、既に市場に現れてゐる。それに對する現在の價格、即ち新しく決定されたオランダ市場向け註文に對する割引率の適用による價格は、ベルギーの國內價格と略々同水準にある。鋼板の輸出向け公定相場の引下げは、まだ直接には市場にさ程重要な結果を齎してはゐない。そして北歐市場に於けるアメリカの競争は今尙感ぜられる。然しながらメーカーは、厚板及び中板の買付は、その價格引下げの爲に漸次増加するであらうと考へてゐる。

輸出貿易の前途樂觀に根據を與へる事情が尙一つある。即ち、南アフリカの政府は、今週アメリカ物に對するダンピング關稅の適用を議會に諮た。もし此の案が通れば、南アフリカに於けるアメリカの競争は甚だしく困難になるだらう。或はそれは全然不可能になるかも知れない。

兎に角メーカーは輸出の前途には可成り信頼を有て居り、近く日ソ紛争が落着すれば、著しい進展を見せるのではないかと考へてゐる。然しながら又、もしも最近の厚中板の値下げが、アメリカの競争に對抗する必要からのみ爲されたものであるならば、薄板や棒鋼其他の構造用鋼材に對してまで、値下げをする必要はないのではなからうか、といふのがメーカーの意見である。

上記のやうな譯で、輸出貿易の状態は最近可成り著しい改善を見せてゐるのであるが、然しベルギー、ルクセンブルグの鐵鋼業が満足す可き状態に達するには、尙未だ途遠しと言はねばならない。國際販賣事務局の統制してゐる製品の輸出情況に就いて見れば、今年上半年は昨年上半期に較べて甚しく減少してゐる。棒鋼、形鋼、鋼板を例にとつて見れば、次の通りの數字を表はしてゐる。

	1938年上半期	1937年上半期
棒鋼	340,000t	553,700t
形鋼	180,000	344,300
鋼板	132,000	256,100

(但し上記の中、昨年数字は確定的なものであるが、今年のものは見積りである。)

上記の他の品種に就ても、帶鋼は 40,000t、亜鉛鍍板は 65,000t、線材は 80,000t 等夫々減少を示してゐる。

銑鐵 フランスの競争は依然として感ぜられるが、然し格別強くなつたとも思はれない。鑄物用3號銑は3週間來60~61志FOBの相場を續けてゐる。然しフランスのメーカーは幾分値引をしてゐるやうである。即 59.6~60 見當を唱へてゐる。ヘマタイト銑の輸出價格は、微動はあつても大勢に變りはない。鑄物用が 800~815 法程度である。

半製品 英國の輸入制限はまだ緩和されな。然し輸出情況は稍々改善を見た。7月中受註高合計 23,775t 中輸出向けは 9,000t であつた。輸出向け價格は競争者の如何によつて異てゐる。競争と言へば、先月約 3,000t のアメリカのピレットがオランダに輸入された。

棒鋼 7月中コジベル受註高は約 40,000t であつて、6月の 31,000t に較べて約 25% の増加である。然し價格は堅實とは言へ

ず、動搖が多い。或る種の重要な註文に對しては相當の値引が行はれてゐる模様である。カルテルはアメリカの國內價格の低下に應ずる爲に、アメリカ向けの棒鋼公定相場を 48.4-49.5 (金) から 3.17.6 (金) FOB に引下げた。再壓延業者は先月中旬頃は値引を 1-2 志 (金) から 2-3 志まで増したが、最近は又 2 志以上の値引はしないやうである。買手はスウェーデン、エジプト、其他の近東諸國、アルゼンチン、支那等である。支那は先月中旬頃、鐵筋用丸鋼其他約 1,800t の註文を出した。

3番アイアン・バー メーカーの受註状態は良好であり、引渡期限は5週間或はそれ以上に延ばされてゐる。相場は 6.17.0-6.18.0 (紙) の間を動いてゐるが、今週に入て 7.0.FOB まで上た。

形鋼 7月受註高合計は 9,820t で、6月の 6,985t に較べて 40% の増加である。中輸出向けは約 5,580t である。價格は不變。合衆國向けの輸出價格は 3.17.6 (金) FOB に下げられた。

帶鋼 受註の状態は餘り満足す可き状態ではない。ホットロール物物はアメリカの競争があり、コールドロール物物はスウェーデンの競争があり、その對抗上相當の値引は必要である。コールドロール物のカルテル價格は、或場合には 20 志 (紙) の割引が行はれてゐるやうである。然し其の註文は6月中に較べて微増した。

厚、中板 7月中受註高は、厚板 13,200t、中板 2,950t、ユニバーサル板 1,400t で、合計 17,550t である。前月の 24,700t に較べて可成りの減少である。然し最近の値下げの効果が追々現れて來るだらうと期待されてゐる。

黒板 7月受註高合計は 8,300t で、5月の 5,300t、6月の 6,900t に較べて相當の増加である。再壓延業者の受註は此の中に含まれてゐないが、その受註高も以前より増加してゐる。値引は平均 15 志で、重要な註文に對しても 20 志を越える事はないやうである。

亜鉛鍍板 需要は少し増したやうである。然し實際の取引はさしたる増加を見ず、市場はむしろ閑散である。取引の復活を見るのは來月に入てからであらうと考へられてゐる。値引は20~30志(紙)程度である。

紐育通信(7月19日發信) 5月26日發信の紐育通信以後に於ける米國製鋼作業率は次の通り。

6月27日發表	28.7%	7月11日發表	32.3%
7月5日發表	22.4%	7月18日發表	36.4%

即7月18日發表の 36.4% は當に本年最高のものであるばかりでなく實に昨年11月15日以來のものである。今や各種産業部門共著しき活況を呈してゐるが、就中自動車工業に於て1939年型新作に多大の期待が掛けられて居る。今、昨 1937 年に於て自動車工業に使用せられたる鐵鋼製品の數量を擧げて見ると次の通り。

ゼネラルモーターズ	2,535,000t
フォード	1,560,000t
クライスラー	1,495,000t
其の他の自動車製作會社	910,000t
合計	6,500,000t

換言すれば自動車製作工業のみにて年高 6,500,000t の鐵鋼を消費するのである。尤も右の内フォードは其使用鐵鋼中の約半數は自給するのであるから、同社の購入鐵鋼數量は約 780,000t である。而して是等の自動車工業は主としてデトロイトを中心として發達しつつあるを以てこの地方を中心とする鐵鋼業は今や著しき進展を見つつあり。

因に American Iron and Steel Institute の發表する前述作業率なるものは本年年初の設備状態に於ける可能作業率を基準とする

ものにして 1938 年 1 月 1 日の基準となるべき Capacity は次の通りである。

鹽基性平爐能力	62,749,001t
酸性平爐能力	1,063,615t
平爐能力合計	63,814,616t
ベッセマー爐	6,440,000t
電氣爐	1,331,124t
クルシール	8,580t
總計	61,596,320t

而して鋼塊對壓延製品の歩留は平均 68% である。

紐育通信(7月27日 發信)

1938 年上半期及 6 月中の米國鐵鋼製品輸出に就て

1938 年上半期即今年 1 月より 6 月に至る合衆國の鐵鋼輸出額は總計 1,117,366t 此金額 75,354,058 弗に達するのであるが、之れを昨 1937 年同期の輸出額 1,370,575t 此金額 86,004,824 弗に比するときは可成の減退を示してゐる。

試に 1932 年以來の各年上期に於ける輸出額を表示して見ると次の通りである。

1932 年(上半期)	206,136t
1933 年(")	452,867 "
1934 年(")	514,322 "
1935 年(")	442,200 "
1936 年(")	554,637 "
1937 年(")	1,370,575 "
1938 年(")	1,117,366 "

上記の内屑鐵は別として製品及半製品につき 1937 年及 1938 年に於ける品種別輸出數量を示せば次の通りである。

	1938	1937
Pig Iron	215,780	305,851
Steel Ingots	123,317	63,281
Plate	120,403	141,463
Black Steel Sheets	102,504	123,072
Tin Plate	89,227	149,658
Steel Bars	81,251	61,437
Structural Shapes	68,714	76,437
Pipe	56,309	70,349
Rails	38,669	54,297
Wire	36,911	54,867
Galvanized sheets	35,431	36,809
Strip sheet	30,554	15,359

尙 6 月中の輸出状況を見るに t 數に於て、149,955t 金額に於て 10,799,161 弗となつてゐるが、之れを 5 月中の輸出額と比較するときは t 數に於て 26,364t、金額に於て 100,611 弗の減少を示して居る。而して品種別と仕向先の關係につき考察するに大體次の通りとなつてゐる。

1. 6 月中の輸出額に於て日本は斷然 Leading market である。

6 月中に於ける日本向鉄鐵及鋼製品は 36,186t にして 5 月中の 49,749t に比すれば稍減退を示し之れを昨年 6 月の 96,259t に比すれば、著減を免れざれ共、依然として仕向先として斷然他國を抜き居るものにして 6 月中に於ける日本向主要輸出品目を擧げて見ると次の通りなり。

鉄	鐵	23,377t	鋼	板	1,411t
鋼	塊	6,217t	其	他	1,888t
ワイヤロッド		3,293t			

2. 鉄 鐵

6 月中に於ける鉄鐵輸出額 24,639t (3 月中 33,931t 昨年 6 月中 105,194t) にして上記の内 23,377t が日本向となつてゐる。

3. ブラックシート

6 月中輸出高 15,904t にして主なる仕向國次の通り。

ソ	聯	3,830t	ブラジル	1,129t
英	本國	2,869 "	オーストラリア	1,059 "

4. 鉄力板

6 月中輸出額 12,840t にして主要仕向國次の通り。

英	領	印度	2,075t	ネーザerland	1,109t
カ	ナ	ダ	1,626 "	佛領印度支那	973 "

5. スチールバー

6 月中輸出額 12,023t にして特筆すべきは仕向先の首位を占むるは廣東であると共に香港にも相當量輸出せられ居る事である

廣	東	5,079t	キューバ	589t		
カ	ナ	ダ	937 "	香	港	568 "
ソ	聯	932 "				

6. 鋼板 (建築用、ボイラー用其他を含む)

6 月中の輸出總計 14,271t にして仕向先次の通り。

ネーザerland	3,096t	日	本	1,411t	
廣	東	2,017 "	香	港	941 "
カ	ナ	ダ	1,653 "		

7. 鋼塊

6 月中輸出總計 10,571t にして仕向先次の通り。

日	本	6,217t	南アフリカ聯邦	1,359t
ネーザerland		2,513 "		

以上の輸出状況より洞察するに米國の輸出は目下の處日本を首位とし、廣東之れに次ぎ居る點尤も興味を引き次いでネーザerland、ソ聯、フィリッピン及ベネゼイラの順序となつて居る。即 6 月中是等主要國向輸出量は次の通りである。

日	本	向	36,186t	ソ	聯	7,320t
廣	東		9,826 "	フィリッピン		6,483 "
ネーザerland			8,674 "	ベネゼイラ		6,020 "

紐育通信 8 月 8 日 發信)

コンポジットプライスに就て

米國に於ける鐵鋼價格を見る場合先づ第一に知らねばならぬ事は所謂コンポジットプライス (Composite price) の基礎概念である。國內の建値は從來の所謂 Pittsburgh plus system に依る場合は勿論本年 6 月以來實施せられた the basing 1 point system に依る場合と雖も其 pointing base 毎に其特異性を有し且鉄鐵の如きは同じ鑄物用 2 號鉄と言へども中部と南部では其品位に相當の相違あり従て例へば Basing Point である。Pittsburgh, Chicago, Birmingham, Cleveland, Youngstown, Middletown, Sparrowspoint, Bethlehem, Buffalo, Coatesville, Claymont, Granite City, Worcester 等によつて別個の相場が建てらるるのであるから米國國內全體的に見た建値なるものがない。この不便に鑑み 1910 年 "The American Metal Market." に依て地理的關係や品位や、數量的の分布状態を參酌して一定の計算に基き Composite price なるものを制定したのであるが、之を直譯すれば合成値段とでも稱すべきであるが事實は全く便宜主義に基く計算値段又は標準値段とでも稱すべきものである。

鉄鐵のコンポジット値段

鉄鐵のコンポジット値段はバレー地方のベッセマー鉄 1t と平爐鉄 2t 及 2 號鑄物用鉄 1t を取りフィラデルフィヤ、バファロー、クリーヴランドの 2 號鑄物用鉄各 1t 宛をピツクアップし之れに振合上より南部産 2 號鑄物用鉄 (シンシナチ建) 1t を取り合計 10t の鉄鐵に對し其平均値段を求め、之れをコンポジット値段としたの

である。即ち 1938 年 1 月 3 日の建値によるコンポジット値段は次の通りである。

コンポジット値段計算基礎 (1938 年 1 月 3 日建)

バレー建バツセマー銑 1t	24 弗 50 仙
バレー建平爐銑 2t (1t 當 23 弗 50 仙)	47 弗 00 仙
バレー建 2 號鑄物用銑 1t	24 弗 00 仙
フライデルフィヤ建 2 號鑄物用銑 1t	25 弗 84 仙
バプアロー建 2 號鑄物用銑 1t	24 弗 00 仙
クリーヴランド建 2 號鑄物用銑 1t	24 弗 00 仙
シカゴ建 2 號鑄物用銑 1t	24 弗 00 仙
南部産 2 號鑄物用銑 2t (1t 當 23 弗 89 仙)	47 弗 78 仙
合計 10t	241 弗 12 仙
1t 平均	24 弗 11.2 仙

即ちこの平均値段 24 弗 11.2 仙が當日に於けるコンポジット値段である。之れは要するに地方的の生産状況と品位の相違とを參酌して結局地方的に見ても品位の上から見ても、又生産の分布状況より見てもアメリカ全體として標準乃至平均せられたる所と見らるべきものとして計算せられたものである。従てこのコンポジットプライスは米國全體の趨勢を見る標準であつて個々の相場は地方的に品種別に應じて相違して居る事を注意しなければならない。

鋼製品のコンポジット値段

鋼製品に就ては地方別によつて品質の相違はない。畜其種類如何によつて市場への重要性に相違あり、且形状と重量との關係あり此點慎重に考慮せられたるものにして、レールを除き Bars, Plates, Shapes, Pipe (1-3), Wirenails, Sheets, Strips, Tin plate の 8 種類に對し重量の或割合を基準として算定したものである。今 1938 年 1 月 3 日の建値によりコンポジット値段を算定すれば次の通りである。

鋼製品コンポジット値段計算基礎 (1938 年 1 月 3 日建)

種類	重量 (lb)	價格	計
Bars	2lb	2.45	4900
Plates	1lb 1/2	2.25	3375
Shapes	1lb	2.25	2250
Pipe	1lb 1/2	3.80	5700
Wirenails	1lb	3.75	2750
Sheets	1lb 1/2	3.30	4950
Strips	1lb	2.40	2400
Tin Plate	1/2 lb	5.35	2675
合計	10lb		29000
	1lb 平均		2.900

即當日の鋼製品コンポジット値段は 1lb 2.900 弗となるのである。

アメリカ商況 (7 月 11 日) 前々號に於て報告した通り、アメリカ鐵鋼業は一つの大きな異變に遭遇した。カーネギー・イリノイスの全般的な價格機構の改訂は、此の會社がアメリカ第 1 の製鐵會社たるユー・エス・スチールの子會社であり、従て同社の價格機構の改訂は即ちユー・エス・スチールの價格政策の變更を意味するものであるからして、それだけに此のカーネギー・イリノイスによつて授けられた一石は、アメリカ鐵鋼業界全體に波紋を描くこととなる可く延ては世界の鐵鋼業に對しても何等かの影響を與へずには置かないであらう。果然、ユー・エス・スチールと共にアメリカ鐵鋼業界に覇を唱へてゐるリパブリック及びベスレームを始めとして、他の獨立會社も續々此のユー・エス・スチールの新價格政策に追隨して行た。

前々號(販賣旬報 123 號)所載の通り、ユー・エス・スチールの新價格政策は 2 つの重要な問題を含んでゐる。第 1 は、價格の廣般な範圍に亙る大幅引下げであり、第 2 は、從來のピッツバーク市場渡し

の價格をベースとし、他の市場渡しの價格はこれに種々のエキストラを附する所の、所謂ピッツバーク・プラス・システム (Pittsburg-plus system) を廢して、ピッツバーク、シカゴ、バーミンガムの各市場均一の價格制を布いたことである。

第 1 の點に關しては、アメリカの鐵鋼生産高が昨年に較べて激しく減少してゐるに不拘、價格は殆んど低落しなかつたといふ状態から見て、最近の不況がアメリカの全般的な不況から來る鐵鋼需要の減退に基因することは勿論であるとしても、此の價格の人為的な維持にも一半の責がある。といふ見方が相當廣く行はれてゐる際であつたから、今般の引下げによつて果して何の程度まで需要が喚起されるかといふ事が第 1 の關心事であらう。これに關聯して、ユー・エス・スチールを匹頭に殆んど總ての製鐵會社が、本年に入て缺損を示したのであるが、此の價格引下げがもしも相當の需要を喚起しないとすれば、その結果は尙一層の缺損の増大に終るの他なく、その場合次に起る問題は勞働賃銀の引下げであらう。

第 2 の點については、問題は一言で云へば、從來の立地的條件の變化に伴ふ混亂といふ事である。先づ鐵鋼消費者の立場から云へば從來のピッツバーク・プラス・システムに於ては、シカゴ、バーミンガムの鐵鋼價格はピッツバークよりも高かつた譯であるが、此の價格差の消滅は、ピッツバークの鐵鋼消費者よりもシカゴの消費者に更にバーミンガムの消費者には尙一層、有利になるわけである。又鐵鋼生産者の立場から云へば、此の價格差の消滅は、シカゴ、バーミンガムに近い中小メーカーにとつては、ピッツバークに近い中小メーカーに對してよりも、一層不利に作用するわけである、之等兩方の立場から云て、採算點の變化は、今後に相當の摩擦を惹き起こすであらう。

これ等の問題を含む今般の價格政策の結果は、まだ明確に市場に表はれてはゐない。買付は今までの所僅少の増加を示してゐるにすぎないが、今後益々増加するだらうと思はれる。價格の不安定の爲に今まで買付を控へて來た結果、買手の在庫は既に可成り減少してゐるやうである。兎に角毎年の例によれば今月は取引の最も閑散な月であるが、今年は數週前の豫想よりも相當多かつた。それに加へて自動車工業の需要が近々増加するだらうといふ見込が、將來に對して樂觀的な材料を提供してゐる。

製鋼作業率は、先々週は、大部分の生産中心地に於て僅かの變化を示したばかりであり、全國平均は不變で 28% であつた。先週は休日の休業に影響されて、4 ポイント下方がつて 24% であつた。

銑鐵生産高は、6 月は 5 月に較べて、1 日平均に於て 13.5%、總數に於て 16.3% の低下を示した。6 月總生産高は 1,055,597 である。本年上半期累計は 7,925,948 であつて、前年同期 19,771,335 に較べて 60% の減少である。

製鋼用屑鋼は騰貴を續け、鋼材及び銑鐵は下落した爲、製鋼用屑鋼合成價格は著騰し、鐵鋼合成價格及び鋼材合成價格は可成り下落した。即ち次の通りである。

	先々週(前週比較増減)	先週(前週比較増減)
製鋼用屑鋼合成價格	\$ 12.16(+70 c.)	12.50(+34 c.)
鐵鋼合成價額	36.29(-\$ 2.22)	36.29(+ 4 c.)
鋼材合成價額	57.20(-\$ 4.50)	57.20(0)

(7 月 25 日) 價格の地域的な分布状態の變化から生じた混亂は、漸次靜まつて來たやうである。此の混亂が靜まるに従て、今まで價格の前途に對する不安から、手許に留保されてゐた註文が少しづつ市場に出て來た。ところが一方、時恰も夏潤れの時期に當り、鐵鋼消費は季節的な減退を來たしてゐる。價格引下げの效果は、此

50

の需要の季節的減少といふ要因を打消して今直ちに買付の著増を齎す程には強くない。然し秋に入ると共に、需要の状態は本格的な復活を示すであらう。価格引下げの効果は今後益々強く表れて来るだらう。さうメーカーは期待してゐる。現在の情勢は、謂はば、一般の人気とか気分とかの上での情勢改善は相當明確に感ぜられるが、まだそれが實際上の効果を表すまでには到てゐないと言ふ可きであらう。然し基礎工作は既に出来てゐるといふ気分が一般に感ぜられる。

東部地方には、新価格機構は復た幾分の修正を見るのではないかとの噂が行はれてゐる。前にも述べた通り、今般の価格機構の改訂は、消費者の立場から云てもメーカーの立場から云ても、採算點に變化を起こし、其の爲に相當の摩擦を惹き起こすのは當然の事である。此の摩擦の餘り甚しい所では、それを除く爲に、新しい價格基準點を無くして舊に復しようといふのである。然しメーカーは此の噂が事實であることを暗示するやうな事は何も言てゐない。

鋼材とは異り、銑鐵の方は最近の價格の4ドル引下げの影響を受けて、直ちに買付の勃興を來たしてゐる。これは第3、4半期分の手持原料の補充の爲である。鑄物業の生産豫定は甚だ低く、又舊契約品の積出も捗々しい増加を示してゐないにも不拘、銑鐵の買付はこのやうに増大してゐる。價格引下げといふ事の他に、その原因として考へられるいま一つの事は、8月の始めに價格が再び上げられるだらうといふ噂が行はれてゐる事である。但此の噂は確たる根據を有つものとは思はれない。

製鋼作業率は前週より4ポイント方上で36%となつた。これは4月の第1週と同じであつて、今年の最高である。最近の製鋼作業率の増大は、鋼材需要の増加に應じる爲の必要量よりも更に大い。此の増産は、一部はメーカーの半製品のストックを増加する爲のものである。メーカーは此の半年の間、半製品のストックを減少するに任せてゐた。その爲に、鋼材の需要が僅でも増加すると、半製品のストックが脅かされるに到たのである。それに加へて、二三のメーカーの間では、幾分思惑も手傳て、現在直ちに必要な量以上の増産もやつてゐる。さう云たやうな理由で、最近の製鋼作業率の増大は、實際の消費の膨脹に先走てゐると言ふ可きであらう。

メーカーにとつて有利な事は、最近の注文が分散してゐる事である。然し少量づゝ出てゐた自動車工業からの注文は減少した。これは1938年型の製造が最終のものを終り、今が丁度39年型の製造に入らうとする境界の時期にあるからである。39年型の製造に入るまでは暫く、自動車工業からの買付は此の稀少の状態を続けるであらう。鐵道業は材料及び設備の購入を此處暫く手控へてゐる。貨車及び機關車の國內注文も當分の間は少いであらう。土木業及び建築業が相當の注文を出すものと考へられてゐる。又これは大分先の事であるが、海軍省が10月5日に軍艦3隻の請負入札を行ふ筈である。

浮沈の多い屑鋼市場も、依然として強勢を續けてゐる。消費者は急激に買付を増加しようとしなれないのに、價格は殆んど總べての消費區域に於て昂騰を續けてゐる。各種合成價格は次の通りである。

	7.23	7.16	7.9	'87,6.23	'33,6.23	
鐵	鋼 \$ 36.30	36.27	36.33	40.03	29.67	
鋼	材	57.20	57.20	57.20	61.70	47.20
製鋼用屑鋼	13.50	13.08	12.50	18.51	10.66	

國內貯藏鐵鋼の買上げ

商工省は各地方長官に獻鐵運動を起さしめ、同時に國內貯藏鋼材を回収し、以て需給調整の一助に資せんとして、豫て日鋼聯をして回収の具體的方法を研究せしめをりたる處今回其の成案を得たので

愈々鐵鋼工作物築造許可規則に依り建築工事を中止したる場合の鋼材又は工事完成後の殘材、鋼製品の製造制限を受けたる製造業者の在庫品其他につき、之を下記の如き買上げの法に依り各種鋼材共販をして買取らしむる事となつた。

買上げ方法

- 1, 本買上は鋼材販賣業者以外の者の有する鋼材の買取に限るものとす。
- 2, 買上は各種鋼材共販之をなすも買上事務は指定販賣人、指定問屋及指定シーヤに代行せしむ。
- 3, 買取價格は共販の建値に依るを原則とす。
賣手の置場よりの運賃は原則として賣手負擔とす。
- 4, 賣手の仕入値が共販建値より高く且賣手に於て其の差損負擔に應ぜざる場合は之を立證する證據書類に基き共販は之が買上値段を査定するものとす。
而して之の値差に對する損失は共販に於て補償するものとす。
- 5, 買上事務代行者は必要に應じ買上事務に付て自己の責任に於て特約店及特約シーヤを利用することを得。
- 6, 買上數量、品種、相手方、受渡場所等に付ては取引の都度遅滞なく共販に報告し之が承認を求むることを要す。
- 7, 本買上は非常時局による報國行爲なるが故に何れもその精神を體し成果の迅速と完全を期し度し。

東西鐵鋼市況

【上旬】 切符の出方は稍々順調となり、其の配置も一時の如くには偏してをらず、さう云ふ方面は漸次體勢を整へつゝある。尤もそれも充分とまで行かぬ事勿論で、隨所に品種別賣出量とその切符の出廻りと適合せぬ場合が有るのを散見するが、少く共改悪されてをらぬのは事實である。

弱小業者はどうしても切符とは縁が遠く、從て大分困てゐる向が有る事勿論で部分的には困憊の深化が見られぬではなく、所謂あきらめも多分にあるであらうが、一頃の如き狼狽の聲は潜んで、外見にしる之れも亦徐々に平靜傾向を示してゐるやうである。

尙ほ急需品には先物のクウォーターを準用して、其の注文が引受店の持分より多い場合は餘分の數量は他店に振り分て、全般に均霑せしむると同時に切符獲得の競争を緩和せしめんとする等の方法も慎重に考慮されつゝある。一方共販の賣出しも増加傾向を辿り、總てが追々と軌道に乗りつゝある。

要するに過渡期で、種々雑多の研究ものが残てをるが、不自由ながらも歩一歩整備されつゝ、又慣れつゝある。

一頃よりは可成り落ちついてゐるやうである。

相場は前旬と變るべくも無く、切符を繞り、公定値段で商内されてゐるが、諸掛りの5圓60錢に異議が有て目下検討されてゐるので、今旬の相場表には建値に問屋口錢の最高5%を加はへたものを誌してをいた。因に諸掛は實際として3圓乃至5圓60錢止りで加算されてゐるやうである。

【中旬】 切符に購入の地域別が無く、且需要者は概して、早く而も品種の整備を望むので、手當ての見込みが有る處に向て切符は流れる。即自然と中央に集り、大問屋に集中され、切符の偏在が激しくなる。

横の取引が許されず、裏書等に依る切符の流用が許せれないので1店に於て希望の物を得るまでは動きが取れない。大體希望の品種數量を1枚の切符で即座に1店から買ひ集めるには無理な在庫状態の際とて、一寸纏た物は其の店に荷物が入るまで待たねばならぬ

やうである。尤も 10t を買ふのに 500kg 又は 1t に細別し、切符を 10 枚或は 20 枚持つて、10 店或は 20 店から買へば求め易いが發券者も需要者も未だ其處までは考へてをらないので、「買へない切符」が山積する。

少い物に切符が殺到し、多い物に切符が見へず、此の情勢も進行してゐる。

切符制に依て鐵鋼が節約された事は確で「節約」其の事は目的を十二分に達せられたが、切符制に依る不自由は相當深刻である。尙鐵鋼の擔保としての價値が再検討される虞がある等々、切實に研究されねばならぬ事が多分に有る。

其の他にも改良を要する點、再吟味が欲せられてゐる點が可成り有るやうで、決して現在に満足されてはをらないが、然し、市場は大體革新商道を呑み込んでをり、銑後護りの第一線に立てゐて、斯く成り、斯く成すべきが運命的であると云ふ事を充分承知してゐるので、切符引當に取引する事、規定値段の存するのは其の値段を遵奉して處理する事等は相當以上に心懸けられて過たず、邪道を行かぬ、そう云ふ點に於ては大過無く推移してゐる。

市場取引の外観に於て、形式的運行に於ては大勢に變化無し。

【下旬】 死藏鋼材の買上げは獻鐵運動の助力を仰がねばならぬ性質を帯びてゐて、可成りむづかしい仕事ではあるが、此處に鋼材を求め道ありと氣附かれてをりながら放置されてゐた事に手がつけられたのであるから、末梢的の嫌ひが無いではないが、鐵鋼不足の今日に於ては確に一進歩である。

熔解用として販賣せられる物を除き製鋼業者、伸鐵業者、シャリング業者より發生する級外品、短尺、端物の類に至るまで總て切符に依て賣買される事となつた。切符制の適否は兎も角、切符體制の整備と云ふ點からは此處にも進展が見られる。

生産、配給、消費の各層を一貫して偏頗無く、且理想的にして最良の統制に達してをらぬ憾みは有らう。

切符制を繞る様々の不便、不備は有らう。

然し、諸事萬端大變革の餘儀ない今日である。

未経験を經驗成しつゝあるのであるから、其處に種々様々の手落ちが出来るのは避け難く、昨今では未だ「無理はない」と云ふ角度から眺められてもよい處は有る。

朝令暮改の誘りを甘受しても改過遷善に勇なるべき秋である。

されば晨に一城、夕べに一砦を征しつゝ進んでゐる事は充分迎へられて然るべきである。

尙ほ最近所謂宛がひ扶持式の賣出しに對する受註主義論、現品引換式の切符制に對する契約證明書主義論が見え始めたが、之等も確に目前の問題で、官民一致而して業界を縦斷したる大審議機關の設置論等と共に、我執を離れて研究されんとする氣運が温醸されつゝあるやうに聞くのは誠に喜ばしい事である。

全業者は國家と共に劃期的の重大時局に直面し、大變革の宿命を負うてゐるのであるから、日暮れて道遠き觀が有らうとも、進んで改過遷善に協力し、以て彼岸に到るべきであらう。

斯く、鐵鋼界は血みどろの苦闘を續けてゐる。

從て統制の風當りが最も激しい市場關係の事共には、至る處に穴が有て、所詮は歩行の困難が免れ難く、市場は依然として不便不自由を感じ、商況に積極性無く、相變らずの統制一色に塗られた市況を續けざるを得ない。

尤も、最近に至り、經濟警察網に依て統制違反の具體的事實が數へられてゐて、問題を提起してゐると云ふ事を聞くので、表面に現

れない動き、或は一部闇の世界には思はざるの情況を現出してゐるかも知れないが、此處に言ふ事を許されてゐる範圍に於ては、多少共整備されつゝ大勢不變の程度に推移してゐると見るより他に致し方が無い。

軍部關係鐵鋼配給證明書發行擔任官

陸軍省及海軍省より軍部關係鐵鋼配給證明書發行擔任官下記の如く發表せらる。

○陸軍關係

- 陸軍省整備局戰備課長
- 陸軍造兵廠會計部長
- 陸軍兵器本廠長
- 陸軍航空本廠第二課長
- 陸軍航空本部第三部長
- 陸軍運輸部長
- 陸軍衛生材料廠長
- 陸軍衛生材料廠大阪出張所長
- 近衛師團經理部長
- 第一師團經理部部長
岡本 正承
- 第二師團經理部部長
勝野 一翁
- 第三師團經理部長
- 第四師團經理部部長
木村 誠一
- 第五師團經理部長
- 第六師團經理部長
- 第七師團經理部部長
武藤 忠安
- 第八師團經理部部長
佐々木政一
- 第九師團經理部長
- 第十師團經理部長
- 第十一師團經理部長
- 第十二師團經理部部長
村田 歳一
- 第十四師團經理部長
- 第十六師團經理部長
- 第十九師團經理部長
- 第二十師團經理部長
- 朝鮮軍經理部長
- 臺灣軍經理部長
- 臨時東京經理部長
- 千住製絨所長
- 關東軍經理部長

○海軍關係

- 海軍省經理局長
- 海軍艦政本部會計部長
- 海軍航空本部總務部長
- 海軍省建築局長
- 海軍省軍需局長
- 水路部會計課長
- 海軍技術研究所會計課長
- 横須賀海軍經理部長
- 横須賀海軍工廠會計部長
- 横須賀海軍軍需部會計課長
- 横須賀海軍病院長
- 横須賀海軍建築部長
- 海軍航空廠會計部長
- 吳海軍經理部長
- 吳海軍工廠會計部長
- 吳海軍軍需部會計課長
- 吳海軍病院長
- 吳海軍建築部長
- 佐世保海軍經理部長
- 佐世保海軍工廠會計部長
- 佐世保海軍軍需部長
- 佐世保海軍病院長
- 佐世保海軍建築部長
- 舞鶴要港部經理部長
- 舞鶴海軍工廠會計部長
- 舞鶴要港部軍需部長
- 〃 建築部長
- 海軍火藥廠爆藥部長
- 廣海軍工廠會計部長
- 大湊要港部主計長
- 鎮海要港部主計長
- 旅順要港部主計長
- 馬公要港部主計長
- 海軍火藥廠會計部長
- 海軍燃料廠會計部長
- 海軍燃料廠採炭部長
- 馬公要港部主計長

鐵鋼配給統制團體の追加

商工省は告示第 244 號を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定に依り次の通り團體を指定す。從て販賣旬報第 119 號第 12 頁上段の團體に更に次の團體が追加される譯である。

- 日本電解曹達工業組合
- 日本アムモニア法曹達工業組合

東京大阪鐵鋼市中相場表

		8月13日	8月10日	8月18日	8月18日	8月28日	8月27日
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	21.60~25.30	28.80	21.60~25.30	伸 28.60	21.60~25.30	伸 28.80
	9	22.70~24.30	23.50	22.70~24.30	23.30	22.70~24.30	23.50
	12	20.60~24.80	24.00	20.60~24.80	21.20	20.60~24.80	21.40
	19	19.50	20.38	19.50	20.10	19.50	20.30
	25	"	"	"	"	"	"
	50	22.20	23.00	22.20	22.80	22.20	23.00
	65	"	"	"	"	"	"
	130	—	—	26.40~30.00以上	—	26.40~30.00	—
	150	—	—	"	—	"	—
	200	—	—	"	—	"	—
角鋼	9mm	21.10~25.80	26.70	21.10~25.10	伸 26.40	21.10~25.80	伸 26.70
	12	21.10~26.40	27.30	21.10~26.40	27.00	21.10~26.40	27.20
	16	21.10	21.95	21.10	21.70	21.10	22.00
	19	"	"	"	"	"	"
	38	"	29.35	"	29.10	"	—
	50	22.20	—	22.20	—	22.20	—
	65	"	—	"	—	"	—
	100	"	—	"	—	"	—
平鋼	3×25mm	21.10~25.80	26.70	21.10~25.80	伸 26.40	21.10~25.80	伸 26.00
	9×19	21.10	"	21.10	21.70	21.10	22.00
	6×25	"	"	"	"	"	"
	6×38	"	21.96	"	"	"	"
	6×50	"	"	"	"	"	"
	6×75	22.20	25.96	22.20~26.00	25.70	22.28~26.00	25.90
	9×100	"	"	"	"	"	"
	12×100	"	"	"	"	"	"
等邊山形鋼	3×20×20mm	22.70	22.65	22.70	23.20	22.70	23.55
	3×25×25	21.60	22.40	21.60	22.20	21.60	22.50
	5×40×40	20.60	21.30	20.60	21.10	20.60	21.45
	6×45×45	"	"	"	"	"	"
	6×50×50	21.10	21.80	21.10	21.60	21.10	21.95
	6×65×65	20.00	20.80	20.00	20.60	20.00	20.90
	9×75×75	"	"	"	"	"	21.95
	9×130×130	21.10	21.80	21.10	21.65	21.10	"
	12×130×130	"	"	"	"	"	"
	15×150×150	"	"	"	"	"	"
不等邊山形鋼	9×50×75mm	21.10	21.80	21.10	21.65	21.10	21.95
	10×75×100	"	"	"	"	"	"
	10×90×125	"	"	"	"	"	"
	9×110×150	21.60	22.35	21.60	22.20	21.60	22.50
溝形鋼	12×100×150	"	"	"	"	"	"
	5×50×100mm	22.70	23.40	22.70	23.25	22.70	23.55
	6×65×125	22.20	22.90	22.20	22.70	22.20	23.05
	6.5×75×150	"	"	"	"	"	"
	7.5×80×200	"	"	"	"	"	"
	9×90×250	"	"	"	"	"	"
工形鋼	10×90×300	"	"	"	"	"	"
	5.5×75×150mm	22.20	22.90	22.20	22.70	22.20	23.05
	7×100×200	"	"	"	"	"	"
	10×125×250	"	"	"	"	"	"
	8×150×300	"	"	"	"	"	"
鋼板	1.6×3'×6'	25.80	26.60	25.80	26.70	25.80	26.10
	1.6×4×8	26.90	27.70	26.90	27.70	26.90	27.10
	1.6×5×10	28.00	28.75	28.00	28.80	28.00	28.10
	2.3×3×6	25.30	26.10	25.30	26.10	25.30	25.50
	2.3×4×8	26.40	27.10	26.40	27.20	26.40	26.50
	3.2×5×10	27.40	28.20	27.40	28.20	27.40	27.50
	3.2×3×6	23.70	24.50	23.70	24.50	23.70	24.50
	3.2×4×8	"	"	"	"	"	"
	3.2×5×10	"	"	"	"	"	"
	4.5×3×6	23.20	24.00	23.20	24.00	23.20	"
	4.5×4×8	"	"	"	"	"	"
	4.5×5×10	"	"	"	"	"	"
	6.0×4×8	"	"	"	"	"	24.00
	6.0×5×10	"	"	"	"	"	"
	9.0×4×8	22.70	23.45	22.70	23.50	22.70	23.50
9.0×5×10	"	"	"	"	"	"	
12×4×8	"	"	"	"	"	"	
薄鋼板 (13板)	川崎	1.03	1.00	1.03	1.02	1.03	1.02
	八幡	"	"	"	"	"	"
ブリキ	米 {170lbs	38.50	—	38.50	—	38.50	—
	{200	40.00	—	40.00	—	40.00	—
	英 {170	38.50	—	38.50	—	38.50	—
	{200	40.00	—	40.00	—	40.00	—
	八幡 {170	38.50	38.85	38.50	39.00	38.50	39.00
{200	40.00	40.45	40.00	40.50	40.00	40.50	
W. W	200 薄口	40.50	—	40.50	43.00	40.50	43.00
線材	B. W. G. # 5	—	—	—	—	196.00	—

備考 100kgにつき(置場値段段)但し薄板は一枚當り、線材は一函當り、線材は一函當り、東京は諸掛含まざる標準裸値段段)

昭和 13 年 8 月中發表各種鋼材建値表

(其の 1)

所屬別	區分 品 種 別	建 値 日	建 値	定 尺	エキ スト ラ	備 考		
棒 鋼 共	丸鋼ベース (19mm~32mm)	8-8	185	12 呎. 15.16.18. 20.22.24		10, 11 月積, 据置		
	6mm	"	205	12	+20	長きのエキストラ 34 呎迄の不定尺 5 圓増 34 呎超 45 呎迄 6 圓増 45 呎超 50 呎迄 8 圓増 50 呎超 別に相談の事 二級品の格差 小形丸鋼 3 圓落以内 中形丸鋼 10 圓落以内 小形角鋼 3 圓落以内 中形角鋼 10 圓落以内 小形平鋼 10 圓落以内 中形平鋼 10 圓落以内 但棒鋼共販の販賣品種は 丸鋼徑 } 100mm 以下 角鋼徑 } 平鋼幅 } 130mm 以下 (火床用平鋼を含む) 六角鋼 } 對邊の距離100mm 以下 八角鋼 } 半丸鋼幅 } 130mm 以下		
	8	"	215	12	+30			
	9	"	215	12.15.18.20 (日 鐵のみ)	+30			
	12	"	195		+10			
	13	"	195		+10			
	16	"	190		+5			
36~48	"	195		+10				
販	中形丸鋼 (50mm~100mm)	"	210	12.15.18				
	小形角鋼 (邊 50mm 未滿)	"	200					
	中形角鋼 (邊 50mm 以上 100 mm 以下)	"	210					
	小形平鋼 (幅 65mm 以下)	"	200					
	中形平鋼 (幅 65mm 超 130mm 以 下, 火床用を含む)	"	210					
形 鋼 共 販	小形等邊 山形鋼 A 3×20×20 B { 3×25×25 3×30×30 3×40×40 C { 5×30×30 5×40×30 4×45×45 6×40×40 6×45×45	8-9	215	12 呎. 15.18.20	+20	10, 11 月積, 据置		
		"	205	}	}	}	長き又は切揃のエキストラ 25 呎超 40 呎未滿 { 大形 10 圓 中形 5 圓 40 呎超 50 呎以下 { 大形 15 圓 中形 10 圓 50 呎 超 { 大形 20 圓 中形 15 圓 25 呎 未 滿 { 大形 15 圓 中形 10 圓	
		"	205					
		"	205					
		"	195					
		"	195					
		"	195					
		"	195					
		"	195					
		"	195					
	"	195						
	中形 山形鋼	小形不等邊山形鋼 5×35×50	"	205		+10	但定尺のみは中形のエキストラは 250 圓大形はエキストラなし。 二級品の格差 小形 } 中形 } 3 圓落 大形 } 規 格 料 A 造船用 (切揃料を含む) 1 造船聯合會經由 30 圓 2 其他のもの 50 圓 B 構造用 (切揃料を含まず) 20 圓 但形鋼共販の販賣品種は 山形鋼 (異形山形鋼を含む) 工形鋼 溝形鋼	
		等邊 (50mm 以上 100mm 以下)	"	190		ベース		
		4×50×50	"	205		+15		
		6×50×50	"	200	25.30.33.36.40	+10		
		8×50×50	"	200		+10		
		不等邊 (邊の和 100mm 以 上 200mm 以下但 125×90 を含む)	"	200		+10		
		大形 山形鋼	等邊 (邊 100mm 超)	"	200			ベース
			200×200	"	203	25.30.33.36.40		+3
不等邊 (邊の和 200mm 超但 125×90 は中形)			"	205		+5		
工形 鋼 溝形鋼	100mm×75mm 以上	"	210		ベース			
	400×150	"	212		+2			
	(大形として取扱ふ) 450×175	"	213	25.30.33.36.40	+3			
	20''×7½''	"	213		+3			
	24×7½''	"	216		+6			
溝形鋼 (大形として取扱ふ)	125mm×65mm 以上	"	210		ベース			
	100×50	"	215	25.30.33.36.40	+5			
	75×40	"	215		+5			

昭和13年8月中發表各種鋼材建値表

(其の2)

所別屬	種 品 別	建 値 月 日	建 値		エキ スト ラ	備 考	
			シーヤ及 間屋向	實需向			
鋼 板	耳付	厚板ベース	8-9	185	195	ベース	据置 幅 7呎~7呎6吋迄 15圓 7呎6吋超~8呎迄 20圓 8呎超~9呎迄 25圓 9呎超~10呎迄 30圓 10呎超 40圓 厚 25mm ~35mm迄 10圓 35mm超~40mm迄 20圓 40mm超~45mm迄 30圓 45mm超~50mm 40圓 長さ 10m 以上 10圓 中板の中間寸法は最も近き寸法の値 段に 10 圓増し 但鋼板共販の販賣品種は 3mm 超 6mm 未滿の中板 6mm 以上 50 mm 以下の厚板
			12mm×5'以下	190	200	+5	
		6mm	45	190	200	+5	
			3.2	190	200	+5	
		厚板ベース	8-9	195	205	ベース	
			12mm×5'超	200	210	+5	
	6mm	45	200	210	+5		
		3.2	200	210	+5		
	共	定尺 (3呎×6呎, 4×8.5×10)	厚板(6mm超) ベース(25mm未滿)	195	205	ベース	
			6mm	220	230	+5	
			45	220	230	+5	
			3.2	225	235	+10	
販	切板	厚板ベース	230	230	ベース		
		6mm	235	235	+5		
	大形	厚板ベース	235	235	+5		
		6mm	240	240	ベース		
薄 板	31番	3呎×6×呎 (13枚入)	8-10	260		9 月積, 据置 其他のエキストラ 25呎×5呎 3圓増 25呎×7呎 5圓増 25呎×8呎 8圓増 25呎×9呎 18圓増 3呎×7呎 5圓増 3呎×8呎 10圓増 其他特殊寸法はエキストラ 20 圓以 内とし其都度協定す 規定外中間寸法は近似寸法の高い方 の値段による 但薄板共販の統制品種は 3mm 以下 1mm 以上の中板 1mm 未滿の薄板	
	30	3×6 (12枚入)	"	260			
	29	3×6 (11枚入)	"	258			
	28	3×6 (10枚入)	"	258			
	27	3×6 (9枚入)	"	256			
	26	3×6 (8枚入)	"	256			
	25	3×6 (7枚入)	"	254			
	24	3×6 (6枚入)	"	254			
	23	3×6 (5枚入)	"	252			
	20	3×6 (4枚入)	"	252			
	18	3×6 (3枚入)	"	250			
	販	16mm 2mm	3呎×6呎	"	245		ベース +10
			4×8	"	255		+20
			5×10	"	265		
		23mm	3×6	"	240		ベース
			4×8	"	250		+10
			5×10	"	260		+20

昭和13年8月中發表各種鋼材建値表

(其の3)

所屬別	品 種 別	區 分	建 値 日	建 値	備 考	
線材共販	5.5mm		8-8	190	9, 10月積 据置 但線材共販の販賣品種は線材全部とす。	
	6		〃	188		
	太 炭 接 用	番 (7~13mm)	〃	220		
	低 半 炭 素 用		〃	245		
	硬 硬 鋼		〃	230		
	電 信 線		〃	240		
	含 鉛		〃	260		
			〃	250		
ブリキ共販	170lb		8-11	3600	9月積, 單位函 日鐵, 東洋鋼板及扶桑鋼業は 170, 200lb 据置, 石油罐用銅板50錢下げ, 同天地板1圓上げ. 其他組合員は 170, 200lb は1圓下げ, 石油罐用板50錢下げ, 同天地板1圓下げに決定. 前月迄の二元建値は一元建置となる. 但鐵力板共販の販賣品種は製法の如何に不拘鍍錫したる鋼板及帶鋼 (ローム板を含む) 全部とす。	
	200lb		〃	3750		
	石油罐用	銅板 天地板	〃	2150		
			〃	3000		
帶鋼共販	0.9~1mm	19~24mm 25~35 36~85 86~105	8-10	285	9月積, 据置 但帶鋼共販の販賣品種はスケルプ及300mm以下のフープとす。	
			〃	275		
			〃	260		
			〃	270		
	1.1~1.3	19~24 25~35 36~49 50~121 122~150 151~160	〃	280		
			〃	265		
			〃	255		
			〃	250		
	1.4~2	19~24 25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	〃	255		
			〃	255		
			〃	245		
			〃	250		
	2.1~2.5	19~24 25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	〃	255		
			〃	250		
			〃	245		
			〃	250		
2.6~3	25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	〃	255			
		〃	250			
		〃	240			
		〃	245			
器具製鐵	美裝鋼板 {1.6mm #18} 白鳩印		8-10	問屋向 263 實需向 276 278		
				245 (標準値段)	全部實需向なり	
	珪素鋼板 (函入)	B 級 C 級 D 級 T 級 T S 級		8-5		追而發表.
				〃		
	スコップ用鋼板	{1.8mm×3'×6' 1.85×4×8		8-20		追而發表.
				〃		
重軌	軌 條 (繼目板共) 軌 條		7-5	210	需要家渡の t 當り値段なり.	
			5-26	200		
鋼	矢 板		12-5-25	205	指定河岸渡, t 當り値段なり.	